

株式会社 トーホーセキュリティサービス 技術顧問
(総合防犯設備士 04-0118号)

山本 克巳



通信関係の企業を定年退職し警備業界に再就職して11年を迎えます。主に機械警備の設計・施工に関わってまいりました。

平成12年に防犯設備士資格を取得して10年を経過し、総合防犯設備士は5年目の更新を終えたところです。奈良県に住まいしていますが、大阪府防犯設備士協会（大防設）個人会員に所属し、大阪府下において、防犯設備士資格を有効に活用して活動させていただいている一人と思っています。

初めての公式な活動は、大防設からの推薦を受け大阪府防犯協会連合会（大防連）の大阪府防犯優良モデル駐車場審査員に委嘱されました、平成14年度の大阪は自動車盗、車上狙いが全国ワースト1の汚名を被っていましたので、官民あげてその対策に取り組んでいました。大阪府安全なまちづくり推進条例に基づき、様々な施策が実施され、その中の一つに防犯優良モデル駐車場登録制度があります。審査員全員で大阪府下64警察署を手分けして、駐車場経営者・防犯協会関係者に対しての防犯優良モデルマンション登録制度推進のため説明会を開催し、講師を務め、その1号認定の防犯優良モデル駐車場の審査に当たりました。大防連としても初めての駐車場審査でもあり自走式5階建200台収容の大きな駐車場が選ばれ、審査当日は大阪府警、大防連、報道関係者の多数が取材に訪れ話題となり、私もニュース番組に登場させていただきました。その後はモデル駐車場の申請も増え取り組みの成果も現れ犯罪件数は減少傾向に向かいました。

その後、総合防犯設備士を取得し、大阪府防犯優良モデルマンションの審査員にも委嘱され今日まで活動をさせていただいています。

最初の警備会社で62歳の定年を迎えましたが、退職すると大防設の企業会員として登録が抹消されますので、審査員推薦の資格なくなるため個人会員として加入しました。その時に協会関係の先輩から、就職のお世話を受け、現在の会社に就職することが出来ました。これは総合防犯設備士資格、大阪府の防犯モデル駐車場・マンション審査員、防犯アドバイザー、大阪市北区安全なまちづくり推進協議会委員を委嘱されて、活動していたことと、日頃から防犯関係ボランティアとして積極的に参画してきたことが、就職の決め手に大変有利に働いたのではないかと思います。

現在も非常勤ですが警備会社に勤務していますが、大阪府の防犯優良モデルマンション審査が私のライフワークの一部になっています。大阪府下申請件数は開始以来800棟を超えるマンションが申請されています。私も今までの5年間200棟近くの審査に関わってまいりました。月平均3件程度の審査を行なってきましたが、現地審査の多かった月は10件越える事もあり、常勤のサラリーマンでは審査時間の確保は難しい仕事量でしたが会社の理解もあり、勤務中にも幾度か審査に行くこともありました。

書類審査には3時間程度掛ります。書類審査報告書の作成と建築設計事務所とのやり取りがあり、防犯知識はもとより、錠前、建築関係の知識が求められますので、審査基準を良く熟知していることが必要ですが、物件毎に条件が違いますので多数審査をする経験が大いに役に立ちました。マンションにおける最近の犯罪傾向に基づき審査基準の見直しや内規による補強をおこない時流に合った審査を行っています。

また、大阪府防犯アドバイザーにも委嘱されていますので防犯診断の要請があります。マンション、戸建住宅、パチンコ店、倉庫、かわった所では、病院、お寺等がありました。病院、お寺の場合には、防犯について参考になる資料等があまりなく苦労しましたが、基本的には防犯環境設計の4原則に基づいて物件にあった防犯診断を行っています。最近のニュースでは京都府、奈良県のお寺や神社において仏像等の盗難が話題になっています。開放的な環境における文化財を守る防犯対策も重要な課題ではないかと思っています。

マンションについては、まだまだ防犯診断が出来る経験者が少なく限定されますので、その専門性を生かした防犯診断の要請は優先的に割り当てられ多くなっています。防犯診断を行い報告書の作成はもとより、マンション管理組合からの要請に基づく防犯教室を開催したこともありました。そのマンションに合った防犯診断を審査基準によるハード面での対策だけではなく、住民相互間のコミュニケーションに基づくソフト面からの防犯対策意識の効用を訴えています、専門的ではなく如何にわかりやすく、防犯対策について理解していただけるかいまだに苦慮しているところです。

防犯診断ではボランティアとして商売を抜きに行なっていますが、駐車場・マンションにおいては防犯カメラを設置する診断がありますが、要望により防犯カメラ設置の見積書を提出する機会もあり、たまには防犯カメラの販売契約をいただける実利にも恵まれることもありました。

私は防犯設備士の資格を有して活動させていただいていますが、まだ防犯診断の機会が少ないこともあり、活動が特定の防犯設備士の活動に偏っているところも見受けられます。もっと社会に認知される活動の輪が広がり、犯罪件数が減少し安全で安心できる社会の実現の一助になればと活動をしています。